

中国の2006年木材輸入の特徴

表1は2006年における中国の主要木材製品の輸入量、輸入額、平均輸入単価を、表2、3は主要仕入国別原木、製材品の輸入量を表すものである。これらの表から、次のとおり中国の2006年木材輸入の特徴がうかがえる。

表1 中国の2006年主要木材製品の輸入実績

品目	輸入量 (原木、製材品、枕木は万 m ³ 、 その他の製品は万 t)			輸入額 (万 USD)			平均輸入単価 (US\$/m ³)		
	2006年	2005年	前年比	2006年	2005年	前年比	2006年	2005年	前年比
原木	3,215.3	2,937.0	9.5	392,926	324,356	21.1	122.2	110.4	10.7
針葉樹	1,970.8	1,827.0	7.9	171,174	138,796	23.3	86.9	76.0	14.3
広葉樹	1,244.5	1,110.0	12.1	221,752	185,560	19.5	178.2	167.2	6.6
製材品 (> 6mm)	606.8	597.3	1.6	168,851	150,779	12.0	278.2	252.4	10.2
針葉樹	210.8	188.0	12.1	37,931	31,699	19.7	179.9	168.6	6.7
広葉樹	396.0	409.3	-3.3	130,920	119,080	9.9	330.6	290.9	13.6
単板・薄板	10.1	11.4	-11.8	11,816	12,124	-2.5	1,175.7	1,063.5	10.6
合板	41.3	58.4	-29.3	19,717	27,589	-28.5	477.4	472.4	1.1
繊維板	56.7	67.7	-16.3	19,571	22,926	-14.6	345.2	338.6	1.9
枕木	8.5	8.2	3.7	920	903	1.9	108.2	110.1	-1.7
パーティ クルボー ド	35.1	3.1	1,032.3	10,173	834	1,119.8	289.8	269.0	7.7

出所：「中国木材」2007年第3号、以下同。

表2 中国の2006年原木輸入量（仕入国別）

順位	国名	輸入量 (万 m ³)	総輸入量 に占める 割合(%)	順位	国名	輸入量 (万 m ³)	総輸入量 に占める 割合(%)
1	ロシア	2,182.6	67.9	5	ガボン	95.8	3.0
2	PNG	206.4	6.4	6	NZ	90.0	2.8
3	マレーシア	141.2	4.4	7	ソロモン	77.4	2.4
4	ミャンマー	102.7	3.2	8	ドイツ	46.8	1.5

上記8カ国からの輸入量は計2,942.9m³、中国の原木総輸入量の91.5%を占める。

表3 中国の2006年製材品輸入量（仕入国別）

順位	国名	輸入量 (万 m ³)	総輸入量 に占める 割合(%)	順位	国名	輸入量 (万 m ³)	総輸入量 に占める 割合(%)
1	ロシア	117.4	19.4	5	カナダ	39.8	6.6
2	米国	102.2	16.8	6	マレーシア	37.6	6.2
3	タイ	70.6	11.6	7	ブラジル	34.1	5.6
4	インドネシア	45.0	7.4	8	NZ	28.1	4.6

上記8カ国からの輸入量は計474.8m³、中国の原木総輸入量の78.2%を占める。

1. 原木輸入の続伸

2006年の原木輸入量は3,215.3万m³にのぼり、前年比9.4%増加し、原木輸入の増加傾向が続いている。うち、針葉樹は1,970.8万m³、広葉樹は1,244.5万m³であり、前年と比べてそれぞれ7.9%、12.1%増加した。

一方、木質パネルのうち、パーティクルボードを除き、繊維板、合板並びに合板製造用単板・薄板の生産能力、生産量とも世界最大であるため、合単板、繊維板の輸入は前年に続き減少している。

2. 針葉樹製材品の輸入急増

2006年の製材品輸入量は606.8万m³であり、前年比1.6%で微増となった。うち、広葉樹は396.0万m³、前年比3.3%減であった。一方、針葉樹は前年比12.1%増の210.8万m³であった。製材品輸入量に占める広葉樹の割合は前年の68.5%から65.3%と減少し、これに対照して針葉樹の割合は前年の31.5%から34.7%と上昇した。輸入製材品の中で広葉樹の減少、針葉樹の増加については、家具、フローリング、木製ドア、中高レベルの合板の化粧用単板向けの広葉樹

製材品の需要が旺盛であるにもかかわらず、中国の輸入業者は広葉樹の新たな調達先とした南米、アフリカからの輸入に力を入れ、これまで熱帯産木材の製材品の主要輸入相手国であるインドネシア、マレーシア、ミャンマー等からの輸入が大幅に減少した。一方、ロシアによる原木の輸出関税率の引き上げを受け、針葉樹の輸入が原木から製材品に大きくシフトしたためとの見方が多い。

3．輸入価格の高騰

枕木を除き、主要木材製品の輸入価格が前年と比べて高くなっている。特に、針葉樹原木、広葉樹製材品、単板・薄板の平均輸入単価は前年の US\$76.0 / m³、US\$290.9 / m³、US\$1,063.5 / t から US\$86.9 / m³、US\$330.6 / m³、US\$1,175.7 / t に値上がり、値上がり幅はそれぞれ 14.3%、13.6%、10.6%である。こうした輸入価格の高騰の背景には、主要輸出国の森林資源保護の強化、輸出関税率の引き上げ、違法伐採の取締りなどがあり、特にロシアの原木輸出関税率の引き上げはロシアの原木、製材品の輸出価格の値上げだけでなく、中国の国産材の価格の高騰にもつながった。

4．最大の輸入相手国：ロシア

ロシアからの原木、製材品の輸入量がそれぞれ 2,182.6 万 m³、117.4 万 m³ に達し、原木、製材品の総輸入量の 67.9%、19.4%を占めることから、原木、製材品の輸入においても、ロシアは中国の最大の輸入相手国であることが分かる。